

本市の緊急消防援助隊活動記録

※消防局では、延べ9隊31人を被災地へ派遣

- 4月14日 熊本県へ出動
- 4月15日 益城町の倒壊家屋捜索救助活動
- 4月16日 南阿蘇郡西原村の倒壊家屋捜索救助活動(75歳男性を救出)
- 4月17日 住民の安否確認、道路通行止調査、救急活動
- 4月18日 住民の安否確認、道路通行止調査、救急活動
- 4月19日 住民の安否確認、道路通行止調査、救急活動
- 4月20日 住民の安否確認、道路通行止調査、救急活動
- 4月21日 住民の安否確認、道路通行止調査、救急活動
- 4月22日 住民の安否確認、道路通行止調査、救急活動
- 4月23日 南阿蘇村の高野台地区で地滑りによる行方不明者の捜索救助活動、南阿蘇村の救急活動
- 4月24日 南阿蘇村の高野台地区で地滑りによる行方不明者の捜索救助活動、南阿蘇村の救急活動
- 4月25日 南阿蘇村の高野台地区で地滑りによる行方不明者の捜索救助活動、南阿蘇村の救急活動
- 4月26日 南阿蘇村の高野台地区で地滑りによる行方不明者の捜索救助活動

平成28年



熊本地震



【編集】= 薩摩川内市消防局予防課 / <http://www.satsumasendai-fd.jp>

薩摩川内市消防局

検索

震災を風化させない...

平成28年4月に発生した熊本地震から3カ月。いまだ多くの方が避難生活を余儀なくされています。



救助活動を行った隊員の声

中央消防署 消防士長 **岡本 翔**

地震発生時は自宅に居ましたが、熊本で震度7と報道発表があり、甚大な被害が出るかと直感しました。直ちに数日間の着替えをバックに詰めて消防署に駆け付け、4月14日22時48分に、緊急消防援助隊として熊本に向いました。

被災地での活動中、辺りに緊急地震速報が鳴り響いた直後に、縦横に激しく揺れ、身動きが取れない状態になりました。後に、これが本震であったことを知りました。消防局防災研修センターにある地震体験の震度7よりもはるかに揺れが激しいと感じました。

この直後、倒壊した家屋に下敷きとなった方の救助活動を行いました。緊急地震速報が鳴り響く中で活動は、恐怖との戦いでもありましたが、無事に1人を救出することができました。

熊本地震の震度7の揺れを現地で体験した一人として、この経験を生かし、今後の消防活動に役立てていきたいと思っています。



東部消防署 消防司令補 **上園 秀**

5月20日から緊急消防援助隊として派遣され、5人の方が犠牲となった南阿蘇村の高野台地区の捜索活動を行いました。

実際にその場に立つと、はるか山の頂上付近から土砂崩れが発生し、跡形もなく住宅を飲み込んでいく自然災害の脅威が迫り、背筋が凍る思いでした。警察、自衛隊と合同で土砂の除去作業を行いました。土砂は粘土質で、さらに雨水を含んでいたこともあり、地面に足元を取られながらの作業は、短時間でもかなりの労力を要しました。

また、いつ起こるか分からない2次災害の恐怖の中、少しでも早く助けたいと力を振り絞り、精いっぱいのはたきつもりですが・・・一人でも多くの命を助けたかったという思いが、今も心の中にくすぶっています。



地震の概要と被害の状況

(平成28年6月10日現在)

熊本地方で4月14日の午後9時26分に震度7、同月16日午前1時25分に震度6強の地震が発生しました。地震の影響により、倒壊した住宅の下敷きになったり、土砂崩れに巻き込まれるなどして49人の尊い命が奪われました。また避難生活によるストレスや病気などでも20人の方が命を落とされています。

住家においても、全壊7,363棟、半壊21,981棟、一部破損107,204棟と、甚大な被害をもたらしました。



西原村道路状況



益城町倒壊家屋



益城町倒壊家屋



南阿蘇村高野台倒壊家屋



土砂崩れ現場を見つめる南阿蘇村消防団員



南阿蘇村高野台土砂崩れ発生場所

あなたの家の地震対策は！

チェック!!
してみよう

- 家の中に、家具のない安全なスペースを確保する。
- 寝室や子ども部屋、高齢者、病人のいる部屋に倒れそうな家具を置かない。
- 家具の転倒や落下を防止する対策をとる。
- 出入り口や通路には物を置かない。



非常持出品を準備しよう！

- 非常食(カンパン、缶詰など) 飲料水 携帯ラジオ
- 懐中電灯 ろうそく ティッシュ ラップ
- ライター(マッチ) 貴重品(預貯金通帳、印鑑など)
- ヘルメット(防災ずきん) ナイフ、缶切り、栓抜き
- タオル ビニール袋 上着 下着 軍手
- 救急医薬品 常備薬 現金
- 健康保険証のコピー
- 筆記用具・ノート 生理用品 歯ブラシ
- 粉ミルク、ほ乳びん、おむつなど(乳幼児がいる場合)
- リュックサック 雨具 毛布、寝袋 など

防災研修センター地震体験

本市消防局1階の防災研修センターでは、震度7の揺れや、過去に発生した地震も体験することができます。実際に揺れを体験することにより、地震に対する安全対策への理解も深まります。

大切な命を守るために、ぜひ活用ください。

【使用料】=無料
【休館日】=毎週月曜日(月曜が祝日のときは翌日)
【その他】=10人以上の団体で利用する場合は、10日前までの申し込みが必要です(申込書はホームページ上からダウンロードできます)。

【連絡先】=平日: ☎(22)0135
土・日曜日、祝日: ☎(22)0119

